

きずな

vol.
65

\\ 私たちが訪問します //



訪問診療はじめました

湖西病院では、2025年7月から訪問診療を本格的に開始しました。

通院することが難しい患者のもとへ、
医師や看護師が訪問し、きめ細やかな医療をお届けします。
住み慣れた場所で安心してその人らしい生活が送れるよう、
私たちが全力でサポートします。

「やっぱり家がいいな を届けたい」

訪問診療ってどんな医療

住み慣れた場所で受けられる安心の医療

「病院に行けないから医療を受けられない」

ー そんな不安を抱える人に

寄り添うのが、訪問診療ですー

訪問診療とは、医師が定期的に自宅や施設を訪問して、診療や検査を行う仕組みです。施設では、原則として施設ごとに訪問診療を行う医療機関が指定されています。しかし、基本的には**通院が困難な人であれば、疾患を問わず、訪問診療を利用することが可能です。**

訪問診療では、普段は病院で受けている血液検査や超音波検査、心電図検査なども検査することができます。さらに、急に体調が変化した場合には往診（臨時の訪問）で対応し、必要に応じて入院へとつなげることもできます。

また、「自宅や施設で最期まで過ごしたい」という希望にも応えられるのが、訪問診療の大きな特徴です。患者と家族が安心して日々を過ごせるよう、医療が生活の場に寄り添います。



なぜ湖西病院で訪問診療

地域のニーズに応えるために

1. 「自宅で診てほしい」と願う人が増えている

湖西市では高齢化が進み、介護や医療の需要がますます高まっています。「病院に通うことはできないが医療を必要とする人」は、今後増える見込みですが、地域全体として十分な訪問診療体制はまだ整っていません。

湖西病院は、こうした地域の課題に応えるため、「自宅療養を諦めていた患者の一人でも多くを、自宅で過ごせる街にする」というビジョンを掲げ、訪問診療の体制を整えました。

2. 「自宅に帰りたい」という入院患者の願いをかなえたい

これまでの入院患者の中には、「自宅での医師の診察ができれば、退院して家に帰れるのに…」という思いを抱えた人が多くいました。しかし、それがかなわず、慣れない施設に入らざるを得ないことがありました。

「自宅はその人らしさが最大限に表現される場である。」

病院では見せない、穏やかな笑顔や、家族・近所との温かい時間を、自宅で過ごしてほしい。この強い思いが、湖西病院での訪問診療のスタートにつながりました。



湖西病院ならではの強み

「顔の見える主治医」が外来から在宅、
そして入院まで一貫して関わる

24時間365日対応

病院から半径16km以内を対象に、訪問診療と往診を提供しています。夜間や休日も含め、患者と家族を支える体制を整えています。

病院とのシームレスな連携

湖西病院には各種検査機器や入院病床があり、必要な時に、そのまま精密検査や入院に移行することができます。「よく知っている」主治医が、外来・在宅・入院を一貫して支えることができるのは、病院を母体とした訪問診療ならではの強みです。また院内のカルテで情報共有が図れるため、連携がスムーズです。

多職種チームによる安心の医療

- 緩和ケアチーム：がんの緩和ケアも安心
- 外科医：自宅での処置も可能
- 総合診療医：幅広い疾患や療養しやすい生活環境への調整に対応
- 糖尿病専門医：自宅での血糖管理も安心



開始から5ヵ月 活動の実績

多職種連携の深化

医師、看護師、そして緩和ケアチームといった多岐にわたる専門医が連携し、幅広い疾患に対応できるようになりました。特に緩和ケアや自宅での処置など、専門性の高い医療を在宅で提供できたことは大きな進歩です。

通院が困難な患者に対し、超音波検査などの病院で受ける検査を自宅で提供し、治療の継続をサポートできています。

地域連携の構築

開始当初は、臨時で訪問対応を行う「往診」の体制を整えることに苦労しました。24時間365日切れ目なく患者の安全・安心を確保するには、訪問看護ステーション、ケアマネージャー、薬局など、地域の支援機関との連携が欠かせません。今では地域で共通のシステムを活用し、患者情報を共有することで、顔の見える連携が少しずつ深まり、よりきめ細やかな医療提供が可能になってきました。

地域の支援機関からの声

湖西病院の訪問診療開始には、大きな期待が寄せられています。入院設備があることが強みなので、さらに、夜間・休日の緊急時(往診、在宅酸素の対応など)の体制を整備し、地域の連携推進のかじ取りが望まれています。

// 担当医師と専門分野を紹介します //



おお た まなぶ
太田 学 先生

緩和ケア
外科



やま もと しゅんすけ
山本 俊介 先生

糖尿病・内分泌内科
総合内科



かわ た さん し ろう
川田 三四郎 先生

緩和ケア・栄養治療
外科



つる やま ゆう
鶴山 優 先生

家庭医療専門医
総合内科

訪問診療を利用している患者と家族の声

患者の声

先生が家に来てくれると痛みを我慢している時間が少なくてすみます。自分の好きな場所で過ごせることが一番だから、できるだけ家で過ごせるように先生や家族が考えて対応してくれることが本当にありがたいです。

家族の声

- 通院が困難なため、訪問診療してもらうことで家族の負担の軽減になっています。また、自宅に医師や看護師が定期的に訪問してくれることが患者の安心にもつながっています。患者本人は訪問してくれることが嬉しく訪問日までに楽器の練習をして過ごしています。
- 来てくれるだけでありがたい。そのおかげで体調がいいみたい。今後、家族も病院に行かずに済むようになってくれるとさらに嬉しいです。

訪問診療看護師の声

- 入院中に関わった患者、家族が自宅に退院してどのような生活を送っているかを知るためにも同行訪問はよい機会でした。とくに自宅療養は困難だと思われた人でも、自宅での生活が可能なことを知り、退院を諦めなくて良かったと考えさせられました。
- 患者にとっての「良いこと」は、一人一人違うため、その人が思う「良いこと」を一緒に考える中で、病気が重くても家で過ごしたい、過ごさせたいという思いを、多職種で連携しながら支援できることは、看護師としても一人の人間としても幸せだと感じます。



在宅診療チームのビジョン



これまで自宅療養を諦めていた患者の一人でも多くを、自宅で過ごせる街にする

患者と家族が「自宅で過ごしたい」という希望をかなえられるよう、医療と生活を支えるパートナーでありたいと考えています。

相談方法

訪問診療の相談は、地域・利用者支援センター「絆」が窓口です。詳しくは、リーフレットをご覧ください。

問い合わせ先

地域・利用者支援センター「絆」
(平日 8:30~17:00)
TEL・FAX.053-574-3220



相談例

- － 通院が難しくなってきた。
- － 自宅で療養を続けたい。
- － 急に体調が悪くなったときに不安…

地域の皆さんが安心して暮らせるよう、湖西病院はこれからも訪問診療を通じて支えていきます。

年末年始発熱外来を実施します

年末年始の連休中に、発熱やかぜ症状のある患者の診療を行います。

実施日 12月28日(日)、30日(火)、31日(水)、1月1日(木)、3日(土)、4日(日)

※変更となることがありますので、受診前に湖西病院ウェブサイトをご確認ください。

受付時間 8:30~11:15 **受付場所** 湖西病院の正面玄関から入り総合受付へ

